

認知症疾患医療センター新聞 第6号

認知症サポーター養成講座を開催！



寸劇の様子

令和2年2月21日(金)、志村大宮病院にて職員を対象とした認知症サポーター養成講座を開催致しました。医療従事者の他、事務職員や運転手など様々な形で患者様へ関わる機会のある職員111名が参加し、認知症サポーターを取得しました。内容は講話や、寸劇を題材としたグループワークで、参加した職員はこれらを通して認知症の方への接し方についての理解をより深めることが出来ました。当院では現在、認知症ケアに関する職員教育に力を入れており、当院の全職員が本講座を受講し、認知症サポーターとなることを目指しております。

認知症サポーターとは

認知症サポーター養成講座を受講した方を認知症サポーターと呼びます。認知症の方を正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かい目で見守り、できる範囲での手助けを行う方のことです。認知症の人やその家族の応援者になります。当センターでは、認知症サポーターを1人でも増やし、誰もが安心して暮らせる街づくりを目指しております。

市民健康教室で認知症を知ろう！

令和2年2月15日(土)、おおみやコミュニティセンター2階で、地域住民の方を対象とした当院主催の市民健康教室にて講演を行いました。心療内科医の大里には、受診を拒否する方への対応や認知症と運転免許に関するよくある疑問について答えていただきました。また作業療法士の木村からは、認知症予防体操であるコグニサイズの実演を交えながら認知症予防についてお話いただきました。

地域の皆様に認知症について関心を持っていただき、より正しく理解していただくため、この市民健康教室では認知症に関する様々なテーマで年に1回講演を行っております。『認知症』という言葉が気になりました方は、ぜひ一度ご参加下さい。

46名の方にご参加
いただきました。



認知症疾患医療センターへの受診予約・ご相談は・・・

TEL 0295-58-8020 へご連絡下さい。

営業時間 月曜～金曜・第四土曜日 9:00～17:00

(祝日・祭日、年末年始は除く)

